

第3期NBRP開始記念 ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP) シンポジウム- 第3期の挑戦 -

日 時 : 2012年11月21日(水) 13:00 ~ 17:00
 会 場 : 東京コンファレンスセンター・品川 大ホールB
 主 催 : 文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト推進委員会
 参加者 : 160名

ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)の第1期(平成14~18年度)及び第2期(平成19~23年度)に引き続き、平成24年度より第3期NBRPがスタートした。2012年11月21日東京コンファレンスセンター・品川にて第3期NBRPの開始を記念して、NBRPシンポジウム-第3期の挑戦-が以下の4部構成で開催された。

第1部は、中核的拠点整備プログラムの成果と展望である。NBRP発足以来中核的拠点整備プログラムとして整備を進めてきたマウス、イネ、線虫の3つのリソースについて、第1期、第2期を通じての実績と成果さらには第3期に向けての展望を発表していただいた。

第2部は、ゲノム情報等整備プログラム及び基盤技術整備プログラムの成果である。NBRPでは、リソースの付加価値を高める目的で中核的拠点整備プログラムと併行して、リソースのゲノム配列等を解析するプログラムとリソースの保存方法等の基盤技術を整備するプログラムを走らせている。第2期で実施されたメダカ、ラットのケースについてその成果を報告してもらった。

第3部は、新規課題リソースの抱負である。今年度から始まった第3期NBRPには新たに4つのリソースが中核的拠点整備プログラムに採択された。ニワトリ・ウズラ、ゾウリムシ、ネッタイツメガエル、研究用ヒト臍帯血幹細胞の4つのリソースについて、それぞれの事業計画と抱負を語っていただいた。

第4部は、生物多様性条約に関する話題である。バイオリソース事業を進める上で避けては通れない生物多様性条約について、名古屋議定書を取りまく国際情勢や国内の対応について最新情報を解説していただいた。

会場は約160名の参加者でほぼ満席となった。一般の方の参加もあり、国のプロジェクトとしてのバイオリソースの重要性を理解していただく機会となった。また、NBRP関係者にとっては研究者同士の議論や情報交換が活発に行われ、お互いに他のリソースの取り組み状況や技術開発を知り合う有意義な機会となった。

第3期NBRP開始記念
ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)
シンポジウム - 第3期の挑戦 -

平成24年**11月21日(水)** 13:00 ~ 17:00
 (受付開始 12:00)
 東京コンファレンスセンター・品川 5F 大ホールB
 〒108-0075 東京都港区港南1-9-36アレア西川 JR品川駅南口(東口) 徒歩2分
<http://www.tokyo-cc.co.jp/access.html>

参加費 無料 事前登録が**必要です** NBRP事務局: nbrp-mail@rig.ac.jpまで 応募、登録、E-mailをご送付ください。

Program

13:00 開会 本会挨拶
 菅原 雅彦

13:15 第1部 中核的拠点整備プログラムの成果と展望
 「ゲノム情報に基づく次世代マウスリソースの展開」
 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科) / 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科)
 「イネ多量体リソースと、従来リソースの展開」
 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科) / 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科)
 「Drosophilaの多量体リソースと、従来リソースの展開」
 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科) / 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科)

14:20 第2部 ゲノム情報等および基盤技術整備プログラムの成果
 「メダカ全ゲノム配列-DNAクロームの高精度解析とゲノム編集技術」
 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科) / 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科)
 「ラット遺伝子に特化した基盤技術の開発」
 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科) / 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科)

15:00 ~ 15:30 休憩

15:30 第3部 新規課題リソースの抱負
 「ニワトリ・ウズラリソースの整備とその展開に向けて」
 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科) / 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科)
 「アシアナババイオリソースとしてのゾウリムシの展開」
 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科) / 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科)
 「ネッタイツメガエルの遺伝子・ゲノム情報と、従来リソースの展開」
 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科) / 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科)
 「研究用ヒト臍帯血幹細胞」
 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科) / 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科)

16:35 第4部 生物多様性条約に関する話題
 「名古屋議定書に伴う遺伝子資源の生物多様性条約 (ABS) に対する対応」
 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科) / 菅原 雅彦 (東京大学大学院理学系研究科)

18:55 閉会

ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)は、動物、植物、微生物、細胞および遺伝子材料等の生物遺伝資源(バイオリソース)を国として戦略的に整備している文部科学省のプロジェクトです。

主催者: NBRP推進委員会
 お問い合わせ先: 国立遺伝学研究所 NBRP事務局 〒411-8540 静岡県三島市品川1111
 TEL: 055-981-6705 E-mail: nbrp-mail@rig.ac.jp

NBRP

第3期 NBRP開始記念
ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)
シンポジウム - 第3期の挑戦 -

講演要旨集

講演要旨集のイメージとして、様々な生物のイラストが並べられています。マウス、イネ、線虫、メダカ、ラット、ニワトリ、ウズラ、ゾウリムシ、ネッタイツメガエル、ヒト臍帯血幹細胞などが含まれています。

平成24年11月21日(水)
 東京コンファレンスセンター・品川

文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト推進委員会

NBRP

NBRPシンポジウム 次第

司会：NBRP事務局長 佐藤 清(国立遺伝学研究所)

13:00 ・開会 NBRP事務局長 佐藤 清(国立遺伝学研究所)
・主催者挨拶 NBRP推進委員会主査 小原 雄治(国立遺伝学研究所)
・来賓挨拶 古田 裕志 (文部科学省研究振興局ライフサイエンス課)

13:15～14:20 ●第1部 中核的拠点整備プログラムの成果と展望

座長：林 哲也(宮崎大学)

- ①マウス 吉木 淳(理化学研究所バイオリソースセンター)
- ②イネ 倉田 のり(国立遺伝学研究所)
- ③線虫 三谷 昌平(東京女子医科大学)

14:20～15:00 ●第2部 ゲノム情報等整備プログラムおよび基盤技術整備プログラムの成果

座長：林 哲也(宮崎大学)

- ①メダカ 成瀬 清(基礎生物学研究所)
- ②ラット 金子 武人(京都大学)

15:00～15:30 --- 休憩 ---

15:30～16:35 ●第3部 新規課題リソースの抱負

座長：城石 俊彦(国立遺伝学研究所)

- ①ニワトリ・ウズラ 松田 洋一(名古屋大学)
- ②ゾウリムシ 藤島 政博(山口大学)
- ③ネッタイツメガエル 住田 正幸(広島大学)
- ④研究用ヒト臍帯血幹細胞 加藤 俊一(東海大学)

16:35～16:55 ●第4部 生物多様性条約に関する話題

座長：城石 俊彦(国立遺伝学研究所)

「名古屋議定書に伴う遺伝資源の取得と利益配分(ABS)に対する対応」

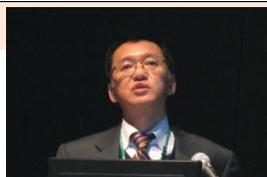
鈴木 睦昭(国立遺伝学研究所)

16:55 ・閉会 NBRP推進委員会委員 森脇 和郎(理化学研究所バイオリソースセンター)

NBRPシンポジウム プログラム

●第1部 中核的拠点整備プログラムの成果と展望

座長: 林 哲也(宮崎大学フロンティア科学総合センター センター長)



マウス(中核的拠点整備プログラム代表機関)

「ゲノム情報に基づく次世代マウスリソースの拡充」

吉木 淳(理化学研究所バイオリソースセンター実験動物開発室 室長)



イネ(中核的拠点整備プログラム代表機関)

「イネ属多様性リソース・変異リソースの展開」

倉田 のり(国立遺伝学研究所生物遺伝資源センター 教授)



線虫(中核的拠点整備プログラム代表機関)

「バイオリソースの収集・保存・提供によるシステムティックな遺伝子機能解析への環境整備」

三谷 昌平(東京女子医科大学医学部第二生理学教室 教授)

●第2部 ゲノム情報等整備プログラムおよび基盤技術整備プログラムの成果

座長: 林 哲也(宮崎大学フロンティア科学総合センター センター長)



メダカ(中核的拠点整備プログラム代表機関)

「メダカ完全長cDNAクローンの大規模塩基配列決定とゲノム機能解析」

成瀬 清(自然科学研究機構基礎生物学研究所 准教授)



ラット(中核的拠点整備プログラム代表機関)

「ラット精子に関する基盤技術の整備 -フリーズドライ精子からラットが誕生-」

金子 武人(京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設 特定講師)

●第3部 新規課題リソースの抱負

座長: 城石 俊彦(国立遺伝学研究所生物遺伝資源センター 教授)



ニワトリ・ウズラ(中核的拠点整備プログラム代表機関)

「ニワトリ・ウズラリソースの整備とその活用に向けて」

松田 洋一(名古屋大学大学院生命農学研究科附属鳥類バイオサイエンス研究センター 教授)



ゾウリムシ(中核的拠点整備プログラム代表機関)

「ナショナルバイオリソースとしてのゾウリムシの役割」

藤島 政博(山口大学大学院理工学研究科環境共生学学域 教授)



ネットアイツメガエル(中核的拠点整備プログラム代表機関)

「ネットアイツメガエルの近交化・標準系統の樹立・提供」

住田 正幸(広島大学大学院理学研究科附属両生類研究施設 施設長・教授)



研究用ヒト臍帯血幹細胞(中核的拠点整備プログラム代表機関)

「研究用ヒト臍帯血幹細胞」

加藤 俊一(東海大学医学部基盤診療学系再生医療科学 教授)

●第4部 生物多様性条約に関する話題

座長:城石 俊彦(国立遺伝学研究所生物遺伝資源センター 教授)



「名古屋議定書に伴う遺伝資源の取得と利益配分(ABS)に対する対応」

鈴木 睦昭(国立遺伝学研究所 知的財産室 室長)